



**新穂** 皇室献上米の刈りとり  
9月29日(金)



9月29日の抜穂祭

11月の宮中新嘗祭に献上する新米の抜穂(ぬきほ)祭が、農業生産法人(有)セブシシステム(代表:本多與八郎さん)が栽培する新穂正明寺の田で行われました。神主のお

払いのあと、黄金色に実ったコシヒカリの稲穂を1株ずつ刈り取る刈初(かりそめ)を行いました。

県内からは毎年、米と粟それぞれ一つずつの農家が選ばれ、皇室に献上しています。今年は環境に優しい米作りに取り組んでいる本多さんの米が選ばれ、春の田植えから丹誠込めて育ててきました。

天日乾燥のあと精米された献上米は、10月23日(月)に皇居で行われた献穀式に本多さんご夫婦により献上されました。



10月4日の献穀の稲刈りの様子

**羽茂** 電動車いす(電動カート)講習会  
9月29日(金)



実地講習

羽茂B&G体育館で電動車いす講習会が開かれました。

電動車いすは歩行者扱いで運転免許も必要なく、取り扱いも簡単のため近年普及

が進んでいます。

講習会は、交通安全協会羽茂支会和市が販売店やメーカーなどの協力を得て、交通マナーや安全確認の大切さを再確認してもらおうと開催しました。

参加者たちは、講習ビデオで路上のマナーや安全のための注意点を再確認したあと、実際の路上を想定し、駐車車両を置いて視界が悪い状態や、道路横断時の安全確認の練習やクランクやS字走行など操作が難しい走行訓練などを行いました。

今後は佐渡市でも電動車いすの普及がすすみ、事故やトラブルが増える事が予想されます。電動車いすの利用者だけでなく、他の交通参加者も相手の立場を思いやり、それぞれが交通ルールやマナーを守って事故が無くなるようにしていきましょう。

**金井** 制度を活用して、米作り体験  
10月3日(火)



金井地区の安養寺集落では、中山間地域等直接支払制度の取り組みの一環として多面的機能の増進につながる活動を行っています。本年度は、金

井吉井小学校5年生と連携し、総合学習事業に米作り体験を取り入れ、黄金に輝き、たわわに実った稲の刈り取りをしました。

刈り取った稲は脱穀作業をし、収穫した米に「ユメヒカリ」と名前を付け、10月29日(日)の文化祭で模擬販売を行いました。



**小木** 小木地区運動会  
10月1日(日)

秋晴れの中、小木地区運動会が小木小学校グラウンドを会場に、盛大に開催されました。昨年まで6分団に分かれて競技を行っていましたが、選手の高齢化等により、分団を再編成し「4分団」とし、選手層の充実を図りました。



第一分団優勝

職場団体や親子参加の多彩な種目と、分団の威信を賭けた対抗リレーに加え、団員が一致団結しての応援合戦が繰り広げられ、地域間交流が図られた運動会となりました。

分団対抗リレー男子・女子の両方を制した第一分団が、再編後初優勝に輝き、慰労会も十分に盛り上がったよう



です。優勝に後一步と迫ったのは、「ダブル、ゴリエ」に扮し応援合戦を制した第2分団でした。地域総出で創りあげる力強さに、運動会の本質を垣間見て頼もしさを感じました。

相川

## お寺でコンサート 10月14日(土)



旧金泉中学校にあったグランドピアノが、寄付された遺族のご厚意により相川下寺町の妙圓寺に寄贈され、お披露目の演奏会が開催されました。

演奏会を主催したのは、同寺の住職であり東京で音楽プロデューサーをしている佐藤方紀さんです。

約120人の方々が、ピアニスト徳江陽子さんの演奏するモーツァルトやベートーベンの名曲を堪能しました。

また、米国先住民民族楽器ネイティブアメリカンフルートやクラリネットも演奏され、珍しい楽器の音色に聞き入っていました。佐藤住職による曲の説明などもあり、今後もピアノを中心とした演奏会を開催する予定とのことです。



赤泊

## 第26回赤泊人生駅伝大会 10月8日(日)

当日は悪天候のなか、赤泊人生駅伝大会が開催されました。

人生駅伝(地区本選の部)は1区小学生女子、2区小学生男子、3区中学生男子、4区中学生女子、5区青年、6区30歳以上、7区40歳以上の計7人でタスキをつなぎます。

出場チームは地区本選の部7チーム、オープン参加の部10チーム、計17チームが健脚を競いました。

地区本選の部では、徳和ヴィクトリーが優勝常連チームの実力を見せ6連覇を達成し、オープン参加の部は、高校生のチームジャイにおまかせ!が安定した走りを見せ優勝しました。各選手とも力いっぱい走りきったゴールでは充実感が満ちていました。結果は以下のとおりです。



位置について



優勝した徳和ヴィクトリーチーム

### 地区本選の部結果

- 1位 徳和ヴィクトリー
- 2位 赤泊
- 3位 川茂
- 4位 徳和チャレンジ
- 5位 南部アスリーターズ
- 6位 南部ランナーズ
- 7位 三川

真野

## 真野地区小学校交流相撲大会 ~ 真野新町・新町大神宮相撲場 ~ 10月16日(月)



真野支所の隣り、新町大神宮の土手を上がると、桜に囲まれた相撲場が姿を現します。昔から新町大相撲として賑わいを見せた場所です。

ここを会場に「真野地区小学校交流相撲大会」が新町まつりに併せて開かれました。

真野小と西三川小では、毎年の交流事業の一つに取り組んでいるもので、子ども達は練習を積み重ね、この大会に臨みます。相撲場にはお父さん、お母さんをはじめ地域の方々の暖かい声援が溢れていました。ガッツリ四つに組んでの大相撲に大きな拍手が会場いっぱい沸き起こっていました。大会終了後は、真野小体育館に場所を移しての交流昼食会。みんなで美味しい『ちゃんこ鍋』をお代わりしていただきました。



新穂

## 第27回新穂地区駅伝競走大会開催 10月15日(日)

絶好の天气に恵まれ、伝統の新穂地区駅伝競走大会が開催されました。新穂地区内17.8キロ(1部5区間、2部6区間)を昨年より8チーム多い、50チームがたすきを繋いで激走しました。

スタート・ゴール地点となる新穂総合センター前には多くの観客が詰めかけ、選手に大きな声援を送っていました。今年は、新穂中男子駅伝部Aが昨年優勝の青木チームを抑え、見事1部優勝を飾りました。



### 【結果】

- 一般男子の部
- 新穂中男子駅伝部A
- 壮年の部
- ひげ
- 一般女子の部
- 新穂小Pかたつむり



**佐和田** 盛況!すわ参道オープンマーケット  
本町商店街 10月21日(土)



3回目を迎えるすわ参道オープンマーケットが開催されました。河原田小学校3年生が総合学習のでっち奉公体験で、かわいらしい店員になり、一生懸命お店のお手伝いをしていました。

子ども鬼太鼓が元気一杯に舞い踊り、その後、マグロの解体が行われ、道行く人は手際よく捌いていく姿に見入っていました。午後には「本町の中心で愛を叫ぶ!」と題し、大声コンテストが開かれました。男性の部優勝は110ホーンの中川さん(真野地区)、女性の部優勝は109ホーンの計良さん(両津地区)で、共に高校生!ユニークなコメントで声を張り上げ会場を盛り上げていました。晴天にも恵まれ、多くの人が本町商店街に集まり、目や鼻だけでなく、五感を楽しませてくれるマーケットでした。本町商店街で年に2回の恒例行事。訪れたことのないかた!次回はぜひ訪れてみては?



**相川** 待ちに待った相川まつり  
10月19日(木)

相川総鎮守善知鳥神社祭礼「相川まつり」が10月19日(木)に行われました。

午後2時30分ころ出発したみこしが夜の9時ごろ各町内の高張り提灯を先頭に、1町目の天領通りに入ってくると、クライマックスは何といっても、豆まきがみこしをとっせんぼする場面です。お互いが体をはって通さない、通せをする様は迫力があつ



て、ハラハラ、ドキドキものです。見物客もそれまでまばらだったのに、この場面には歩く場もないほどの人だかりで、大喝采でした。

**赤泊** 赤泊中学校創立60周年記念集会  
10月21日(土)



絵手紙作成中

赤泊中学校で創立60周年記念集会が開催されました。

当日は、食堂を会場に絵手紙教室が開催されました。参加者は季節の果物や野菜、ぬいぐるみなど身近なものを題材に「10年後の私への手紙」と題し講師から絵手紙の指導を受け、楽しみながらも真剣に作成しました。

その後の記念集会では保護者も一緒に体育館で円になり、講師の石塚英夫さんから「中学校 雑感」と題した中学校の歴史についての講演を聴き、地元根付いている地域との交流の大切さを学びました。

午後からの球技大会では、ソフトバレーボール大会が行われ、保護者と生徒、先生と生徒が対戦し普段とは違った活躍を披露するなど、和やかな記念集会となりました。



講演会の様子

**真野** 幼児交通安全教室が開催される  
~吉岡・真野第一保育園~ 10月20日(金)

真野第一保育園を会場に保育園児を対象にした交通安全教室が開かれました。当日、真野第二保育園児9名も参加し、総勢149名の子ども達が、県警職員の方から、信号の見方、横断歩道の歩き方などを学びました。また、腹話術人形『ケンちゃん』と遊んだり、交通安全探検クイズなど楽しく過ごしました。



最後に、横断歩道の歩き方を実演し、横断する前に一旦止まる。右・左・右と確認する。手を上げて素早く渡る。三つの守りごとを確認しながら楽しく参加していました。



11月を迎え、ますます日没時間が早くなりましたが、夕暮れ時の道路の歩き方・道路横断の仕方、運転者の早めのライト点灯などお互い注意したいものです。



**羽茂** 度津(わたつ)神社で鳥居の立替工事が  
おこなわれました。10月25日(水)

度津(わたつ)神社の一の鳥居が立替えられました。  
度津神社は羽茂飯岡地区にある神社です。「延喜式(えんぎしき)」「神名帳(しんめいちょう)(927年)の佐渡国の部に度津神社他(ほか)8社の名が載っており、古くから格式ある神社だったと思われます。その9社のうち、第一の宮として「一ノ宮」と呼ばれるようになりました。

度津神社で祀られている五十猛命(いたけるのみこと)は日本書紀によると天照大神(あまてらすおおみかみ)の甥にあたり、林業や陸上・海上交通安全の守護神とされています。この御利益にあやかろうと今でも年末年始をはじめ多くの参拝客が度津神社を訪れています。

今回立て替えられた鳥居は度津神社の一番外側の鳥居で一の鳥居と呼ばれるものです。古くなった本柱の



「一の鳥居」

交換や老朽化が進んでいた部分の補修を行った上で立替えられました。

11月下旬には塗装なども終わり年末年始の御参りには、新しい姿で参拝客を迎えます。

**両津** 備えあれば憂いなし  
(加茂地区防災訓練)10月22日(日)

「訓練、訓練、ただいま避難勧告が発令されました。」浦川漁港を主会場に加茂地区防災訓練が行われ、和木地区～歌見地区の地元住民約170名が参加しました。



当日は、午後1時ごろ、佐渡市浦川沖でマグニチュード7.7の大地震が発生したとの想定で訓練が開始され、合計18項目の訓練が行われました。所定の避難場所へ集合する住民避難訓練や、バケツリレーによる初期消火訓練のように地元住民が参加するものから、新潟県消防防災航空隊所有のヘリコプター「はくちょう」による海中転落者救助訓練や、佐渡海上保安署および(有)菊池組所有の船舶による船舶火災消火訓練のような大掛かりなものまで多種多様の訓練が行われました。



災害はいつ襲ってくるかわかりません。常に各地区が協力しあう体制を整え、万が一に備えておくことが大切です。

**小木** 白鳥飛来



ここ数年小木町に白鳥が飛来してくるようになりました。

今年は、10月27日に五羽の白鳥が飛来し、旅の疲れをとるよう

に、水草をついばんでいます。

そこへ、たぬき(むじな)が歓迎?の挨拶に登場しました。疲れた羽根に鞭打ち一旦は飛び立ったものの、程なく元の田に舞い降り、たぬきと一定の距離を保ちながら食事を続けていました。小木こどもセンター(保育園・幼稚園)の子供たちも、突然の来訪者?に大喜びしながら、あたたかく見守っていました。



**畑野** 紅葉山まつり  
10月29日(日)

美しく色づいた紅葉山公園で「紅葉山まつり」が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、会場には大勢の人々が訪れ秋の味覚や様々な催し物で大いに楽しんでいました。

メインイベントである「マツタケ狩り大会」では、隠された本物のマツタケを一生懸命探し求める姿が見られました。その他にも「柿の皮むき大会」や「お楽しみ抽選会」なども行われ、会場は大いに盛り上がっていました。

訪れた人々は綺麗な山々と美味しい食べ物に囲まれて、心身共にリフレッシュできた一日となったようでした。

